



## MULTICHRON



ユーザーズガイド

# 目次

はじめに .....	1
クイックスタート .....	1
電源 .....	1
初期設定 .....	1
1. コントラストの調整 .....	1
2. 現在時刻の設定 .....	2
3. 区間タイム計測モードの設定 .....	2
4. 計測開始モードの設定 .....	2
5. 設定の終了 .....	2
タイムの計測 .....	2
計測タイムの閲覧(レビュー/リコール) .....	4
データのリセット .....	4
リファレンス .....	4
電池について .....	4
各部の詳細 .....	4
ボタン .....	4
表示項目と操作方法 .....	5
ストップウォッチモード .....	5
データレビューモード .....	6
時刻表示モード .....	6
カウントダウンタイマーモード .....	6
アイコン .....	7
一般設定 .....	7

## 本書について

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- ・ 本書の内容に関して、将来予告無しに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。
- ・ 本書の内容に関して、Aim s.r.l. および有限会社ベアでは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 本書の著作権について

- ・ すべての権利は、Aim s.r.l. および有限会社ベアに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行うことは、一切お断りいたします。

© 2005 BEAR inc.

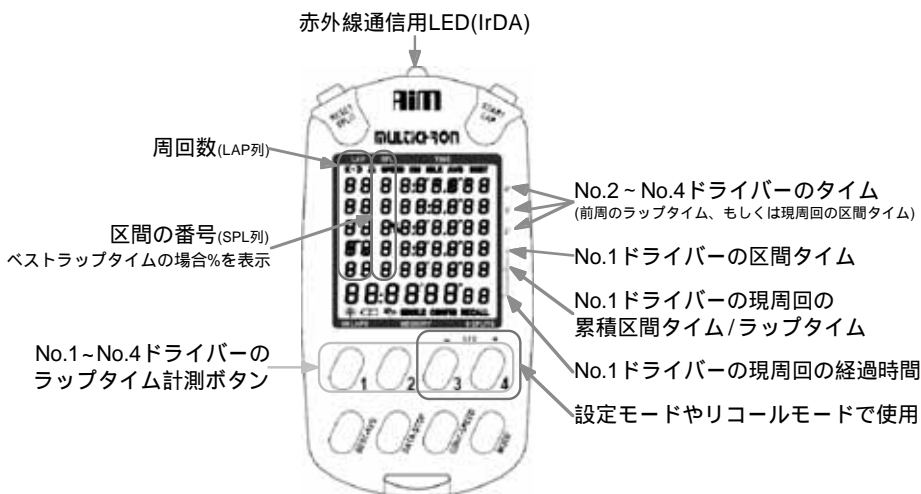
## はじめに

この度は MULTICHRON をお買いあげいただき、有り難うございます。本マニュアルは「クイックスタート」と「リファレンス」の二部構成となっています。初めて MULTICHRON をお使いになる方は、まず「クイックスタート」をお読みください。さらに詳細な情報については「リファレンス」をご覧ください。

## クイックスタート

### 電源

画面表示が消えている場合、どれかのボタンを押すと電源が入ります。



### 初期設定

以下の手順で初期設定を行います。ここでは、最低限必要な設定のみ行います。なお、画面に表示される英文字(アルファベット)は簡易的に表示されます(液晶の仕様です)。

#### 1. コントラストの調整

CONF-SPEED ボタンを押します。CONTRAST が点滅していることを確認し、-(マイナス)ボタンと+(プラス)ボタンで、液晶を見やすいコントラストに調整します。

## 2. 現在時刻の設定

CONF-SPEED ボタンを押し、次の設定画面に移動します。その後、DATA-STOP ボタンを7回押し、時刻表示部分を点滅させます。現在の時刻を一桁ずつ設定していきます。-(マイナス)ボタンと+(プラス)ボタンで数字を増減させ、DATA-STOP ボタンで桁を移動します。

## 3. 区間タイム計測モードの設定

CONF-SPEED ボタンを押し、次の設定画面に移動します。その後、DATA-STOP ボタンを6回押し、MULTI(もしくはSINGLE)を点滅させます。-(マイナス)ボタンと+(プラス)ボタンでNo.2~No.4ドライバーの区間タイム計測方法を切り替えられます。計測したいドライバーが固まって走行している場合にはシングルモードの方が使いやすいでしょう。通常はマルチモードで使用してください。2つのモードの違いは以下の通りです。

- MULTI(マルチモード)

RESET/SPLIT ボタンを押したまま、2~4のボタンを押します。

- SINGLE(シングルモード)

RESET/SPLITボタンを押してから、2~4のボタンを押してドライバーを確定します。

## 4. 計測開始モードの設定

DATA-STOP ボタンを押します。MULTISTART(もしくはONESTART)が点滅していることを確認し、-(マイナス)ボタンと+(プラス)ボタンで計測開始方法を切り替えます。通常はマルチスタートモードで使用してください。2つのモードの違いは以下の通りです。

- MULTISTART(マルチスタート)

それぞれのドライバーの計測を別々のタイミングで開始します。

- ONESTART(ワンスタート)

すべてのドライバーの計測を同時に開始します。なお、このモードを選択した場合、2~4のボタンを押しても計測は開始できません。

## 5. 設定の終了

MODE ボタンを押して、設定を終了します。

## タイムの計測

通常の初期設定(マルチモード、マルチスタート)を行った場合のタイム計測方法は以下の

通りです。その他のモードでの操作方法は「リファレンス」を参照してください。

#### 1. ストップウォッチモードを選択

MODE ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。なお、MODE ボタンを押すと、4つの操作モード(ストップウォッチ、レビュー(リコール)、タイマー、時計)を順番に切り替えることができます。

#### 2. 計測開始

START/LAP ボタンを押すと No.1 ドライバーの計測を開始します。1 ボタンも同様の機能を持ちます。

2、3、4の各ボタンを押すと、それぞれ No.2、No.3、No.4 ドライバーの計測を開始できます。

#### 3. ラップタイムの計測

START/LAP ボタンを押すと No.1 ドライバーのラップタイムが計測され、下から3行目(1° の行)に表示されます。1 ボタンも同様の機能を持ちます。

2、3、4の各ボタンを押すと、それぞれ No.2、No.3、No.4 ドライバーのラップタイムが計測され、2°、3°、4° の行に表示されます。

各行の一番左の列(LAP)には現在の周回数が表示されます。ベストタイムの場合、2列目(SPL)に b と表示されます。最大 99 周まで計測できます。

#### 4. 区間タイムの計測

RESET/SPLIT ボタンを押すと No.1 ドライバーの区間タイムが計測され、下から3行目(1° の行)に表示されます。下から2行目には周回の開始時点からの累積タイムが表示されます。

No.1 以外のドライバーの区間タイムを計測するには、RESET/SPLIT ボタンを押したまま(離さずに)、2から4のボタンを押します。例えば、No.3 ドライバーの区間タイムを計測する場合、RESET/SPLIT ボタンを押したまま、3のボタンを押します。

各行の左から2列目(SPL)には現在の区間数が表示されます。最大9区間まで計測できます。

#### 5. 計測の停止

計測を停止するには、DATA-STOP ボタンを2秒以上押し続けます。

## 計測タイムの閲覧(レビュー/リコール)

計測したタイムを閲覧する方法は以下の通りです。

### 1. リコールモードを選択

MODEボタンを押してリコールモードにします。リコールモードでは右下にRECALLと表示されます。

### 2. タイムの閲覧

-(マイナス)ボタンと+(プラス)ボタンで表示させる周回を前後できます。

BEST-AVGボタンを押すと、各ドライバーのベストタイムを表示できます。この状態でさらにBEST-AVGボタンを押すと、各ドライバーの平均速度が表示され、さらにもう一度押すと累積走行時間が表示されます。

## データのリセット

計測したタイムをすべて消去するには、ストップウォッチモードでRESET/SPLITボタンを2秒以上押し続けます。

## リファレンス

### 電池について

MULTICHRONは、CR2032ボタン電池を2個使用しています。電池マークが下部に表示されたら、交換してください。



2つの電池はそれぞれ別の役割があります。OPTIONS-battery(下側)はピープ音や赤外線通信などに使用するためのものですので、WATCH-battery(上側)が消耗していなければ、ストップウォッチ機能自体は利用可能です。

### 各部の詳細

#### ボタン

- ・ 上部の2つのボタン(START/LAPが右でRESET/SPLITが左)はメインドライバーの計測に使用します。
- ・ 2、3、4、のボタンはそれぞれそのほかのドライバーに割り当てられています。なお、3と4は設定モードでDOWNとUPとして使用します。

- MODE ボタンで操作モードを切り替えます。
- CONF/SPEED ボタンで設定モードに入ります。
- DATA/STOP ボタンでストップウォッチを停止します。設定モードでは、変更する項目を次に移動します。
- BEST/AVG ボタンでベストタイムや平均速度を表示します。

## 表示項目と操作方法

ディスプレイには6行の表示領域があります。各モードでの各行の表示項目と操作方法は以下の通りです。

### ストップウォッチモード

- 上の3行は、メイン以外の3人のドライバーに割り当てられています。それぞれの区間タイムとラップタイムを見ることができます。
  - 1行目：No.4 ドライバーデータ（ラップ、区間、累積）
  - 2行目：No.3 ドライバーデータ（ラップ、区間、累積）
  - 3行目：No.2 ドライバーデータ（ラップ、区間、累積）
- 下から3行は、メインドライバーに割り当てられています。一番下の行が現在の経過タイム、下から2行目と3行目は、そのラップのスタート時点からの、ラップタイムと各区間タイムを表しています。
  - 4行目：メインドライバー区間タイム
  - 5行目：メインドライバーラップタイム
  - 6行目：メインドライバーのスタートからの累積時間
- メインドライバーの計測方法(MULTIモードの場合)  
START/LAP ボタンで計測を開始します。  
計測開始後、START/LAP ボタンでラップタイムを計測します。  
計測開始後、RESET/SPLIT ボタンで区間タイムを計測します。  
DATA/STOP ボタンを1.5秒以上押して、計測を停止します。  
データ閲覧はMODE ボタンを押してリコールモードにします。  
RESET/SPLIT ボタンを2秒以上押すとデータが消去されます。  
平均速度に表示を切り替えるには、CONF/SPEED ボタンを押します。

- ・ メインドライバー以外の計測方法(MULTI モードの場合)

2、3、4、の各ボタンでラップタイムを計測します。

RESET/SPLIT ボタンを押したまま、2、3、4、のいずれかを押して区間タイムを計測します。



計測したいドライバーが接近して走行しているとき等に便利な、別のモードもあります。この場合の設定方法および操作方法は[一般設定]の項目を参照してください。

### データレビューモード

- ・ MODE ボタンでデータレビューモードになります。最下行にRECALL マークが現れ、各ドライバーのベストタイムが表示されます。

1 行目 : No.4 ドライバーデータ

2 行目 : No.3 ドライバーデータ

3 行目 : No.2 ドライバーデータ

4 行目 : メインドライバーデータ

- ・ 操作方法

3、4、ボタンで前後のラップ(区間)タイムを表示します。

AVG/BEST ボタンを押すと、上側にBEST マークが現れ、各ドライバーのベストラップが表示されます。もう一度AVG/BEST ボタンを押すと、上側にAVG マークが現れ、各ドライバーの平均速度が表示されます。もう一度押すと元の表示に戻ります。

### 時刻表示モード

- ・ アラームがオンになっていると2行目にアラーム設定時刻が表示されます。
- ・ 最下行(6行目)に現在時刻が表示されます。

### カウントダウンタイマーモード

- ・ 以下の項目が表示されます

2 行目 : 設定されているカウントダウンタイム

3 行目 : カウントダウンタイム

6 行目 : 現在時刻

- ・ 操作方法

START/LAP ボタンでカウントダウンの作動・停止を切り替えます。

カウントダウン停止中に RESET/SPLIT ボタンを押すと、設定されているカウントダウンタイムにもどって、作動を開始します。



カウントダウンがゼロになると、設定タイムに戻って作動を続けます。

## アイコン

アイコンは次のような意味があります。

- ・ 上側の表示

((.)) ピープ音入 BELL:アラーム入

SPEED:平均速度を表示していて、タイムは表示していない

KM:速度は km/h 単位で、サーキットの全長は km 単位

MILE:速度は mph 単位で、サーキットの全長はマイル単位

AVG:各ドライバーのそのテストにおける平均速度が表示されている

BEST:各ドライバーのベストラップが表示されている

- ・ 下側の表示

LAMP:バックライトを装備している(購入時オプション)場合、ライトが入

BATTERY:電池残量が少ない

SINGLE:2つの計測方法のうち SINGLE が選択されている(一般設定を参照)

CONFIG:システムが設定モードに入っている

RECALL:システムが記録されたデータを表示するモードに入っている

## 一般設定

CONF/SPEED ボタンを押すと設定メニューになります。下側に CONF の表示が現れます。各項目の内容については一覧表をご覧ください。



CONF/SPEED ボタンは、データ解析モード(Recallがアクティブ)では別の機能を持ちます。この場合、MODE ボタンを押してデータ解析モードを終了してから、CONF/SPEED ボタンを押してください。

- ・ -, + (3 と 4) ボタンで点滅している設定項目の値を変更できます。
- ・ DATA/STOP ボタンで次の設定項目に移動します。
- ・ CONF/SPEED ボタンで内容を保存して次の設定ページに移動します。
- ・ MODE ボタンで内容を保存して設定メニューを終了します。

### 一般設定

CONTRAST	ディスプレイコントラスト調整	ディスプレイを見る角度に合わせて - と + ( 3 と 4 ) キーでコントラストを調整できます。
LIGHT ON/OFF	バックライト	バックライト付きモデルのみ。
BEEP ON/OFF	クリック音	ボタンを押したときのクリック音を設定できます。
SEND IRDA	PCへのデータ転送	IrDAを使用してPCにデータを転送できます。
ECON ON/OFF	省エネルギー設定	操作がしばらく行われないと、ディスプレイ表示を消すようにできます。消えてしまった表示を戻すのは、いずれかのボタンを押します。

### 時刻・アラーム設定

ALARM ON/OFF	アラームの設定	次の項目で設定する時刻にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
AL 01:00 A	アラーム時刻	アラームの時刻を設定します。アラームはいずれかのボタンを押せば停止します。
CHIME ON/OFF	時報	時報を鳴らすかどうか設定します ( 毎時00分と30分 ) 。
HH:MIN'SEC"	現在時刻設定	現在の時刻を設定します。
A / P / _	時刻表示設定	午前 / 午後 / 24時間表示を選択できます。

### ストップウォッチ・サーキット設定

UNIT: MILE/KM	長さの単位	長さの単位を設定します。
LEN:##.###	サーキット全長	平均速度を計算するために入力します。
MULTI / SINGLE	ストップウォッチ動作モード設定	ストップウォッチの動作モードを切り替えます。 ラップタイム計測：MULTIモードの場合、各ドライバーの通過に合わせて、1 から 4 の各ボタンを押します。SINGLEモードの場合、各ドライバーが通過するたびにSTART/LAPボタンを押した後、通過した順に1 から 4 の各ボタンを改めて押します。 区間タイム計測：MULTIモードの場合、RESET/SPLITボタンを押したまま、通過したドライバーに合わせて1から4の各ボタンを押します。SINGLEモードの場合、各ドライバーが通過するたびにRESET/SPLITボタンを押した後、通過した順に1から4の各ボタンを改めて押します。 SINGLEモードは、各ドライバーが接近して走行しているとき便利です。
ONE/MULTI START	スタート設定	レースの場合、すべてのドライバーが同時にスタートするので、ストップウォッチの計測開始が同時になるONE STARTを選択します。一方、練習走行などでは、スタートがバラバラなので、各ドライバー毎にスタートするMULTI STARTを選択します。
TIMER ON/OFF	経過時間表示	TIMER OFFに設定すると、ラップや区間を計測した後、次にボタンが押されるまで表示が固定されます。一方、TIMER ONに設定すると、7秒後に現在の経過秒数が表示されます。

## サポート

---

24時間無償サポートをご利用下さい。

© Aim s.r.l. 日本語オフィシャルウェブサイト サポートページ

<http://www.aimsports.jp/support/index.html>

お問い合わせが多いトラブルの解決方法など、FAQを掲載しています。また、最新のソフト・ファームウェアなどを入手できます。

◎故障・修理等のお問い合わせ先は、下記の通りです。

電子メール [info@aimsports.jp](mailto:info@aimsports.jp)

FAX 020-4665-6438

ファックス送信料金は、1都3県内(東京都・千葉・神奈川・埼玉県)/40秒毎10円、それ以外の地域/30秒毎10円です。その料金プラス1回送信あたり10円かかります。NTTより他の通話料と一緒にポケットベル料金として請求されます。



---

Aim s.r.l

Via Cavalcanti 8,

20063 Cernusco sul Naviglio - MI

Italia

<http://www.aim-sportline.com/>

---



---

有限会社ベア (BEAR inc.)

〒158-0082

東京都世田谷区等々力 7-2-26

<http://www.aimsports.jp/>

---